

令和6年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価（3月25日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①基礎的な知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む意欲を高めるような学習活動の実践を目指す。 ②生徒の学力向上と希望進路保障のために授業改善を推進し、カリキュラム・マネジメントに取り組む。	①授業改善の取り組みを通じて、本校生徒に身につけさせたい力についての共通理解をさらに深める。 ②生徒の希望進路実現につながるような科目選択の指導を行う。また、それぞれの科目で学力向上につながる授業を実践する。	①授業改善に関する研修会、授業見学、研究授業等を適切に実施する。 ②補習の実施、選択科目説明会などを通じて生徒の自立的な学習を促す。	①生徒による授業評価における満足度80%を維持しているか。 ②生徒がより主体的に学習に取り組み、その結果普段の授業でもいい影響が見られたか。	①各教科で、生徒に身につけさせたい力について共通理解を図ることができた。 ②授業評価の満足度80%を維持できた。	①授業の中で目標の力習得を目指す方法を今後も考え、共有していく。 ②授業評価の自由記述欄で、プラスの記述がさらに増えるように検討を重ねる。	・満足度は上がり続けないが、授業改善の仕組み作りや、受講者視点で授業力量向上を目指して欲しい。 ・新学習指導要領による教育課程が完成し生徒の学びに変化が生まれている。	①新カリ完成年に授業改善3カ年計画を策定できた。さらに、生徒ニーズに適合した教育課程へ近づける。 ②科目選択の説明を尽くし志望先に合致した選択を目指させる。	①人事配置も伴う変革のため長期スパンで実施する。 ②明確な志望を持たせ、意欲を高める授業づくりを通して、希望進路の実現に繋げる。
2	生徒指導・支援	①生徒の主体的な取り組みを通じて学校生活の充実を目指す姿勢を育む。 ②生徒の多様性を踏まえた支援体制の充実を図る。 ③日常生活や学校活動の意義を深く理解し、自分自身の成長を常に求めようと努力する姿勢を育む。	①学校行事や生徒会活動、部活動における目標を常に意識させながら諸活動を指導、支援する。 ②生徒の多様な状況に合わせた支援体制の充実を図る。また、鎌倉支援学校との連携や共生を推進する。	①生徒の諸活動において、課題の改善につながる情報共有や振り返りを常に求めていく。 ②教育相談にかかる情報を共有と外部機関との連携を進めて生徒の支援体制の確立を図る。	①目標の達成状況や課題・活動の経過について十分な振り返り等ができるか。 ②教育相談の成果を踏まえ、生徒や保護者に適切な対応ができたか。	①行事や諸活動で情報共有の機会を確保したが、振り返りの機会は十分とはいえない。 ②毎月の相談依頼へは専門職との問題共有が進み、サポートドックへは効果的対応が高めつつある。	①行事のあり方や新たな取り組みについて協議する機会を設けていく。 ②サポートドックのスクーリング、プッシュ面談等、有効なシステムの効率的な活用を開発する。	・金井町内に金井高があるブランド意識が地域にある。 ・小学生をエスコートする高校生がいる反面、喫煙やバイク乗車があり苦慮の様子が伺える。	①体育祭の競技場実施が決まった。初回開催に向け準備を進める。 ②担任団の懸命な対応にも関わらず進路変更が16名に上った。対処の必要がある。	①用具準備や進行における課題を想定しながら周到な要項を準備する。 ②変容する生徒・保護者意識へ効果的な対応方法を研修等を活用し開発していく。
3	進路指導・支援	①生徒が主体的に考え方行動し、自身の将来を開拓していく力を育む ②探究活動を通じて協働することを学び、社会への理解を深め、予測不能な社会で生き抜いていく力を身に付ける支援をする ③学習活動を通じ、生涯に渡って学び続ける基礎力を育む	①体系的なキャリア教育を通して、変化の激しい社会と自己の将来を見据えて行動できるよう、進路意識の向上を図る。 ②自己にあった入試方法を選択させ、あきらめることなく進路目標に向けて主体的に行動できるよう支援する。	①総合的な探究の時間を中心に、計画的にキャリア学習を実施していく。 ②ガイダンスを充実させ、適切な情報提供を行い、生徒の主体的な活動をサポートする。	①探究学習を通して視野を広げ、進路を見据えた主体的な行動をとることができたか。 ②ガイダンス等で情報を提供するとともに、面接・小論文指導等手厚いサポートを行った。	①探究学習や進路活動等、興味に応じて各自主的な取組が見られた。 ②達成度に大きな差がある。早い段階から指導を計画する必要がある。	①取組の差がみられる。探究の重要性を再度認識させ取り組ませる必要がある。 ②達成度に大きな差がある。早い段階から指導を計画する必要がある。	・進路説明会が明解で好評である。 ・探究活動を調べ学習ではなく興味の深堀として進めて欲しい。 ・適正な進路選択のため進路先を多く見て判断力を高めて欲しい。	①外部検定試験への意識は高まった。キャリア形成に繋がるステップを踏ませ、第一志望を固める。 ②模擬試験への一層の意識高揚を目指す。	①進路行事で進路選択意欲を高めることを目指す。 ②模試分析結果とその年の出願傾向を統合した出願指導を学校として確立していく。
4	地域等との協働	①地域や保護者との連携を推進し、開かれた学校づくりを進める。 ②中学生やその保護者に本校の魅力を効果的に伝え、本校を志願する生徒を増やす。 ③近隣地域との交流の意義について深く理解させ、これまで以上に地域との連携行事を増やす。	①③学校運営協議会を効果的に利活用し、地域や保護者との連携をさらに進める。 ②ホームページや学校説明会などの内容をさらに充実させ、受検生やその保護者などに本校への理解を深めてもらう。	①③生徒やPTAが様々な行事に参加できるようにする。 ②各種広報活動で生徒が活動できる機会を与える。	①③合唱部が栄区の区政推進課の行事の手伝いや、障害者施設で発表を行った。 ②学校説明会では生徒の発表が特に好評であった。	①校外でのイベントは休日であることや、授業や大会で参加が難しい。 ②学校説明会は希望の日程で会場予約ができないことがある。	・創立150年に力を貸して欲しい。 ・住電夏祭りへの参加や住電同好会とのコラボ等協力を惜しまない・土日のイベントへの参加協力を希望する。	①③夏祭り・祭礼・演奏会・イベント等地域へ貢献できた ②広報活動は概ね好評だったが、さらに中学生に遡及できるHP・学校説明会・中学校訪問を目指す	①地域社会の生育能力への期待を込め、地域や異校種との交流をさらに発展させる。 ②広報活動での生徒活躍の場を保証する。	
5	学校管理 学校運営	①安全・安心な学校づくりを推進する。 ②50周年の周年行事を通じて、地域や卒業生の力を本校の教育活動に最大限に活用していく。 ③職場の民主化・平準化の充実を目指し、様々な方面の調整を進め	①老朽化や危険箇所への対応を適切に行う。 ②訓練を実施し、防災意識を高める。 ③周年行事について具体的な内容を決定していく。	①修繕・修理が必要な箇所を把握し、迅速に対応を進める。 ②防災用品の適切な管理を行う。非常時の適切な行動を確認する。 ③地域や卒業生との連携を深めながら事業内容を探っていく。	①教育内容に支障がないように配慮ができたか。 ②防災用品の整備充実ができたか。生徒職員の防災意識を高めることができたか。 ③周年行事について具体的な提案ができたか。	①関係各所と調整を行い、学習環境を整えることができた。 ②災害時の行動や避難経路などを訓練を通して確認することができた。 ③具体的な内容の骨格が出来上がった。	①教室配置については引き続き検討が必要である。 ②防災用品の備蓄場所や内容について今後も適切に対応していく。 ③来年度の50周年記念式典を滞りなく遂行できるように準備していく。	・50周年行事を同窓会として全面的に支援する。寄附も募る。 ・卒業式で生徒が保護者や関係者へ示した意気込みや所作が立派だった。 ・校舎竣工50年経過で地盤の沈下が50cm以上ある。早い手当が必要。	①教室棟・体育施設等の老朽化対策が進んだ。 ②生徒参画型実践的防災訓練、分教室との合同訓練を実施してきた。 ③50周年への組織づくり、各部会事業が具体的に進んだ。 ④PTA、同窓会と協力を強め生徒の帰属意識を高める式典とする。	①老朽化対策不十分箇所へ引き続き対処し安全な教育環境を保持する。 ②予告しない防災訓練の実施を検討していく。 ③PTA、同窓会と協力を強め生徒の帰属意識を高める式典とする。